

平成 30 年度技術交流「有限要素法による構造解析技術」

核融合科学研究所 技術部長 小林策治

技術交流会「有限要素法による構造解析技術」の開催について

核融合科学研究所技術部では、各大学／研究機関の技術職員による、装置の設計・製作の現場で得た知見や、制御プログラム開発における技術情報の共有等を目的として、今後の技術向上・研鑽に資する「技術交流」を実施してきました。昨年度は「熱シミュレーション技術」をテーマとした技術交流会を企画し、多くの方々と議論することができました。そこで今年度も、シミュレーション技術をテーマとした技術交流会を開催することになり、構造解析に焦点を絞り講演（口頭発表）を募集したところ、特別講演 1 件を含めて 8 件の発表となりました。本交流会を通じて、若手技術者の人的ネットワークを構築することも目的としております。もちろんベテランの方もあわせ、数多くの皆様の聴講での参加をお待ち申し上げます。

技術交流会開催要項

1. 開催日時、場所

日時：平成 31 年 3 月 1 日（金）午後 1 時 40 分～午後 6 時 00 分

場所：核融合科学研究所

シミュレーション科学研究棟 1F 会議室

2. 聴講・TV 会議システム申込期限

参加（聴講）：平成 31 年 2 月 12 日（月）

聴講希望の方は、必要事項を記入の上、下記 E メールアドレスまでご連絡ください。

担当窓口：tech-meeting@nifs.ac.jp

【必要事項】

- ・参加形態：「聴講」 or 「TV 会議システム」
- ・機関名：
- ・部署名：
- ・お名前（漢字・フリガナ）：
- ・E メールアドレス：

<TV 会議システムについて>

技術交流を TV 会議システム Zoom にて配信します。TV 会議システムにて参加のご希望の方には、後日接続方法等をメールにて案内させていただきます。

3. 特別講演

講演者：核融合科学研究所核融合システム研究系田村仁准教授

「核融合炉概念設計における有限要素法活用の現状」

4. 講演 7 件（技術交流プログラム参照）

発表時間：25 分（発表 20 分、質疑応答 5 分）

5. テーマ「有限要素法による構造解析技術」

近年、プロセッサ性能の飛躍的な向上に伴い、設計者自身が有限要素解析を気軽に実行できるようになりました。しかしながら、解析結果を正しく読み取り、実設計に反映するプロセスは、未だ設計者の技量に依存しているのが実情です。そこで今回は構造解析に焦点を当て、機関・分野の枠を越えた構造解析における分析や考察を通して、設計の問題点を抽出する考え方を学び、参加者同士が交流する場を提供することを目的とします。

世話人：村瀬尊則、河合将照、林 浩己